

地域と生きる

おんが病院・おかがき病院だより

地域総合支援センターを開設しました。



重度認知症デイケアセンター



重度認知症デイケアセンターは、5月より改築後の広々としたホールに移設し、受け入れ人数を50名に増員しました。それに伴い、スタッフも作業療法士2名、看護師6名、精神保健福祉士1名、介護福祉士1名、ケアスタッフ4名となり、専門職による多角的視点で利用者さんやご家族をサポートする体制も整えました。心身の健康管理を行ないながら、専門職による個別のプログラム（学習療法、作業療法、音楽活動、レクリエーションなど）を通し、症状の軽快や生活機能の維持および認知機能の進行予防を目指しています。

また、ご家族の介護負担が軽減できるように、ご家族の気持ちに寄り添った、思いやりのある看護を行なっていきます。そして、利用者さんが在宅で長く生活できるよう支援し、より地域に密着した重度認知症デイケアセンターを目指します。

デイケアスタッフ一同、利用者さんやご家族の笑顔を大切に、利用者さんの安全には十分配慮し、利用者さんにご家族が安心できるサービスを提供してまいります。



随時、体験ご利用ができます。
お気軽にお尋ね下さい。
デイケア直通番号 093-282-7609

住民公開講座 遠賀中間医師会「認知症フォーラム」を開催しました

平成 28 年 3 月 13 日（日）に在宅総合支援センター主催による住民公開講座・遠賀中間医師会「認知症フォーラム」を遠賀中間医師会館多目的ホールにて開催いたしました。

メインテーマは『認知症になっても住みやすい町に』とし、「基調講演」と「パネルディスカッション」を通して認知症について理解を深め、地域のみんなで支えあえる町づくりについて考える場としました。

遠賀中間をはじめ近隣の地域の方 145 名と多くの方の参加があり、情報コーナーでは 1 市 4 町から認知症に関することやおなが病院・おかがき病院から専門の相談員による相談、認知症チェックコーナーが設けられ、訪れる方の関心の深さを感じました。

基調講演では「デイサービス春の音」の管理者である高橋英二氏から『気がつけば MCI（軽度認知障害）』についてお話をいただきました。講演では早期発見の大切さ、進行を防ぐ取り組み、デイサービスでの体験から人格を尊重したケアの重要性を、そして、その体験を活かし、ご自身でデイサービスを設立されたことなど当事者の方しか語れない貴重なお話を聞かせていただきました。

パネルディスカッションでは『認知症の人を支えるまちづくりを考える』をテーマに認知症の方に関わられている次の 5 人の方にお考えを述べていただき討論いたしました。

「認知症の医療体制」	おなが病院副院長	末廣 剛敏 氏
「介護の立場から」	グループホームさくら	岡部 瑤明 氏
「家族の立場から」	認知症の人と家族の会 直方世話人代表	宗廣壽美子 氏
「行政の取り組み」	岡垣町地域包括支援センター 遠賀町地域包括支援センター	能見 由香 氏 田邊加奈子 氏



講演 「気がつけば MCI」



パネルディスカッション

【参加された方々のご感想として】

○認知症に対する知識を得た。○子供たちへの認知症のサポート講座の開催も必要。○認知症を正しく理解する地域づくりを。○介護のイメージを変えていくことが必要。○居場所のあるケアやサービスを。○皆で情報を共有し認知症の方への理解を深めることが大切。○ご本人・ご家族を孤立させないこと、そのための支援があることを知らせることが必要。○地域の人たちで何ができるのかを考えた。○家族の会への参加で戸惑いや不安が軽減できているので、参加をすすめていきたい。○行政がやっていることを知らないことが多い。○町の取り組みが良かった。などをいただきました。

認知機能の低下があっても住み慣れた町で、自分らしく生きていくことができる、安心して暮らしていける、支えあえるやさしい町づくりのきっかけに繋がっていくことを願い、又、在宅総合支援センターもお役に立ってきたいと思っています。

（文責：在宅総合支援センター 新田 壽子）

情報・相談コーナー



発行日：平成 28 年 8 月吉日
発行：遠賀中間医師会おなが病院・おかがき病院
編集：おなが病院・おかがき病院広報委員会